

おおさき うちかわ
大堰と内川

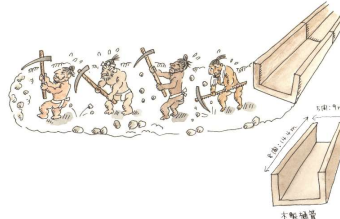
おおさき うちかわ めいしゅう ゆらい
大堰・内川の名称の由来

内川のおかた
「う」の地「田」
ほが作られ、
米作りが盛んなに
な



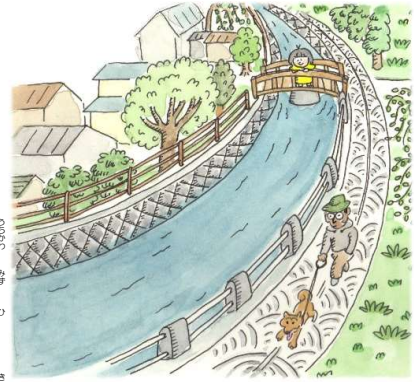
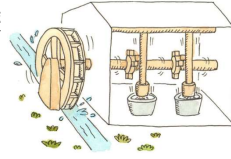
江合川から田々ほど水を引き入れ
るために巨大な木造の水門を造りま
した。それが「大堰」だったので
大堰と名づけられた。内川は、この
大堰から水を引いており、この水が
米作りにも使われてきました。

伊達政宗公が天正から元和に
城を移してきました。
内川の流れる城を造る前
かありまして、城を守
るために作った土壘(土の壁)の上の橋(橋)の
内側を流れていたの
で「内川」と呼ばれていま
も残っています。

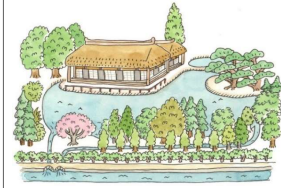


おおさき ひ みず うちかわ なが
大堰から引かれた水が内川の流りに

内川は、昔から「う」の「田」
色々と利用されてきました。水車を
回して粉挽にも利用されました。



大堰から取り入れられたきれいな水の流れが内川です。地域では
内川を宝として内川環状水車造りを作っています。
内川は、日本の歴史ある用水路を認定する「跡水百選」に
選ばれていますが、世界の歴史ある用水路を認定する「世界かんがい
施設遺産」にも選ばれています。

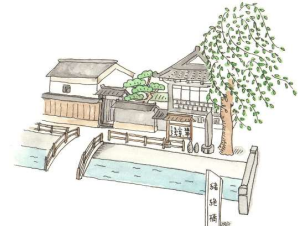


内川の水を引いた「旧
有徳池および庭園」の池も
有徳池です。

れきし ゆうめい おだえがわ うちかわ げんりょう
歴史で有名な緒絶川は内川が源流



小野川も緒絶川
上流の新田夜馬の
里で生涯を終えた
里で生涯を終えた
里で生涯を終えた



内川の流れる下流で、万葉集に
名を遺す緒絶川に繋がっています。
緒絶川は、古の歌人の松尾芭蕉
にも知られた歴史ある川です。

なんど こうずい なが おおさき
何度も洪水で流された大堰

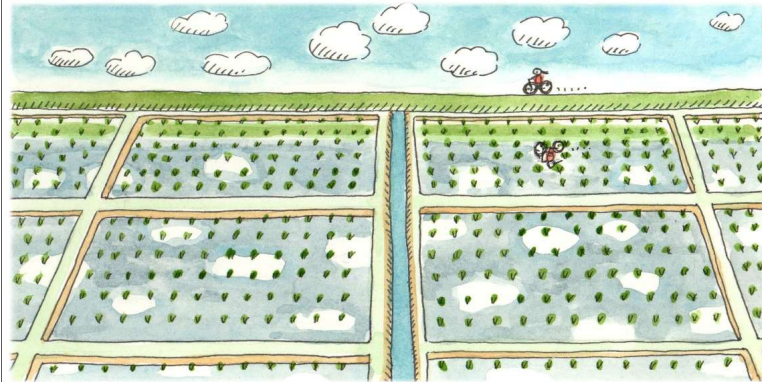


昔は、洪水が溢りだした時に
を水神様にお願いするしがあり
まわっていました。



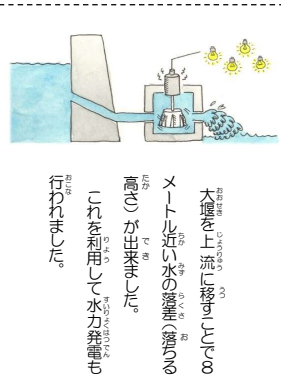
最初の大堰は木造だっ
たので洪水の度に流れて、
その壊れ直しなければな
りませんでした。

おおさき うちかわ みく おおさき こうと せかいのうぎょういさん にんてい
大堰や内川を含む大崎耕土が世界農業遺産に認定されました！

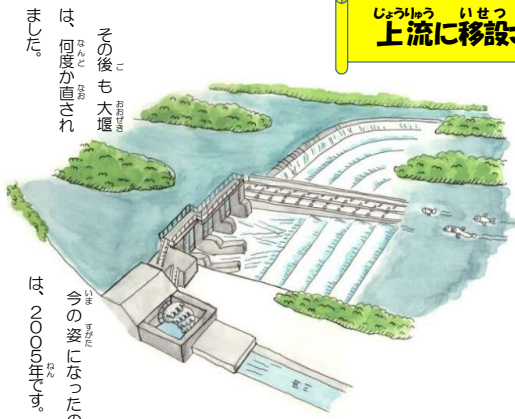


内川の水は、大崎耕土と呼ばれる広農地の
中央部の約千三百ヘクタールを潤しています。
その水の恵みの独自の文化が稲作の発展してき
ました。
誰のなみ毎日食入っているお米は生産者
生命の水なのです。

じょうりゅう いせつ おおさき
上流に移設された大堰



大堰が上流に移設されて
メートル近い水の落差(落差)の
高(高さ)が出来ました。
これを利用して水力発電も
行われました。



その後も大堰
は、何度も直され
ました。
今の姿になったの
は、2000年です。

洪水をも壊れない堰ができてきた
長い間の願ひが実現しました。明治時代の1900年「イ
ン」木造からコンクリート造りになったのも上流
に移設されました。